

事業番号	07 05 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	工科短期大学校・技術専門校による職業訓練事業	部局	産業労働部	課・室	産業人材育成課	
	実施期間	S13 ~	E-mail	jinzai	@ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・Society5.0をめぐる動きや、人生100年時代における職業人生の長期化など、経済・社会環境が変化する中、生産年齢人口の減少、少子高齢化の進展などにより若年者層を中心として労働者が不足している。
 - ・持続的な産業発展・生産性向上を図るために、「学び」により一人ひとりが職業能力を高め、その能力を存分に発揮できる環境づくりが必要とされている。

2 事業目的

就業に必要な技能・技術・知識習得のための職業訓練を実施し、県内基幹産業や成長が期待される分野・人手不足分野への就業を促進するとともに、更なる専門性と高度な知識・技能を持つ技術者の育成を支援する。また、様々なノウハウを持つ民間教育訓練機関等と連携し、女性・若者・障がい者等の個々の特性やニーズに応じた多様な訓練機会を提供し、就業を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

①新規学卒者向け職業訓練

- ・工科短期大学校、技術専門校において、新規学卒者を主な対象として、就職に必要な技能・技術・知識を習得するための職業訓練を実施（専門課程・普通課程）。また、工科短期大学校では、DX人材の育成を図るなど、社会経済環境の変化に適応できる産業人材を育成。
 - ・【新】木曽地域の木工・木材工芸（伝統工芸） 産業の魅力を発信するため、木工分野の人材育成の拠点である上松技術専門校の修了生によるイベントを開催。

②求職者向け職業訓練

- ・再就職を希望する求職者等に対し、工科短期大学校・技術専門校から民間教育訓練機関等へ職業訓練を委託して実施。
 - ・南信工科短期大学校、岡谷・佐久技術専門校において、就職に必要な技能・技術・知識を習得するための職業訓練を実施（短期課程）。

③在職者向け訓練事業

- ・ものづくり産業の技術力向上・生産性向上を図るため、工科短期大学校・技術専門校において、在職者向けの講座を実施し、デジタル分野も含め、更なる専門性と高度な知識・技能を持つ技術者の育成を支援。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし =: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込	推移			
①-1	工科短期大学校（専門課程）修了者の就職率	%	98.9	97.0	↙	98.0	↗	100	△	次期プラン策定中のため、現行の県産業人材育成プラン2.0のR7数値目標と同じ数値を設定している。	
①-2	技術専門校（普通課程）修了者の就職率	%	93.5	93.7	↗	94.0	↗	95	△	次期プラン策定中のため、現行の県産業人材育成プラン2.0のR7数値目標と同じ数値を設定している。	
②-1	民間活用委託訓練の受講者数	人	821	739	↘	806	↗	1,100	△	次期プラン策定中のため、現行の県産業人材育成プラン2.0のR7数値目標と同じ数値を設定している。	
②-2	民間活用委託訓練の就職率	%	72.0	67.1	↘	68.0	↗	75.0	△	長野県地域職業訓練実施計画の数値目標「委託訓練の就職率75.0%」を基に設定している。	
③	在職者訓練の受講者数	人	1,566	1,650	↗	1,647	↘	2,364	△	次期プラン策定中のため、現行の県産業人材育成プラン2.0のR7数値目標と同じ数値を設定している。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況					目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度
2-1③	産業人材の育成・確保	県関与のリカレント(リスクリング)講座・訓練の受講者数(2023～27年度累計)	人	—	2023 (R5)	2,708	2024 (R6)	5,872	2027 (R9)	20,000
3-1②	デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現	県関与のデジタル分野の講座・訓練の受講者数(2023～27年度累計) ※再掲	人	—	2023 (R5)	2,090	2024 (R6)	4,566	2027 (R9)	9,000

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	1,124,617		1,124,617	286,751		106.0
	要求	1,132,672		1,132,672	282,353		
R7年度		66,879	1,170,667	0	1,237,546	296,941	106.0
R6年度		0	1,089,225	△ 132,448	956,777	269,212	748,855
要求からの 主な変更点		技術専門校運営事業費、工科短期大学校運営事業費及び南信工科短期大学校運営事業費について、施設・機器の整備経費を減額					

事業番号	07 05 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	工科短期大学校・技術専門校による職業訓練事業	部局 産業労働部 課・室	産業人材育成課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	工科短期大学校運営事業費	147,965 千円	155,853 千円	予算案 197,398 要求 197,942 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	職業訓練（施設内訓練）の実施	直接	新規学卒者等の製造業等への就業を促進するため、専門的な職業訓練を実施 専門課程（2年）4コース 定員160人	
2	施設・機器の整備	直接	職業訓練を実施するため、施設・機器の維持管理、新規機器の導入を実施 設計用コンピュータ24台、機械工学実験装置1台の更新	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	南信工科短期大学校運営事業費	81,928 千円	97,047 千円	予算案 108,464 要求 108,570 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	職業訓練（施設内訓練）の実施	直接	新規学卒者等の製造業等への就業を促進するため、専門的な職業訓練を実施 専門課程（2年）2コース 定員80人 短期課程（6か月）2コース 定員20人	
2	施設・機器の整備	直接	職業訓練を実施するため、施設・機器の維持管理を実施 マシニングセンタ1台の修繕	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	工科短期大学校研修事業費	4,380 千円	4,380 千円	予算案 5,046 要求 5,046 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教授等を対象とした研修の実施	直接	校の教授等が職業能力開発大学校等にて研修を受講することにより、専門知識、指導技法の向上を図る 受講コース数：66コース 受講者数（のべ）：76人	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	技術専門校運営事業費	199,354 千円	202,872 千円	予算案 249,592 要求 256,997 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	職業訓練（施設内訓練）の実施	直接	新規学卒者や求職者の、ものづくり分野等への就業を促進するため、職業訓練を実施 普通課程（1～2年）13コース 定員285人 短期課程（6～12か月）7コース 定員55人	
2	施設・機器の整備	直接	職業訓練を実施するため、施設・機器の維持管理、新規機器の導入を実施 パーソナルコンピュータ66台の更新、老朽施設・備品の更新	
3	指導員研修の実施	直接	職業訓練指導員の資質向上のため、研修を実施 受講コース数：36コース 受講者数（のべ）：48人	
4	地域産業魅力発信事業の実施	直接	【新】木曽谷・伊那谷フォレストバレー事業の一環として、木曽地域の木工・木材工芸（伝統工芸）産業の魅力を発信するため、木工分野の人材育成の拠点である上松技術専門校の修了生が出展する「椅子コンペ」及び「コンペ審査員によるトークショー」を開催 イベント開催数：1回	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	民間活用委託訓練事業費	554,577 千円	608,484 千円	予算案 457,760 要求 457,760 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	民間教育訓練機関等に委託した職業訓練の実施	委託	求職者の就業を促進するため、民間教育訓練機関等に委託し、多様な職業訓練を実施 実施コース数：95コース、受講者数（定員）：943人（長期高度人材育成コース縦越分を除く）	
2	職業能力開発コーディネーター等の配置	直接	委託訓練を効果的に実施するため、職業能力開発コーディネーター等を雇用し、技術専門校や工科短期大学校に配置 職業能力開発コーディネーター等の配置人数：24人	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	障がい者民間活用委託訓練事業費	65,317 千円	63,453 千円	予算案 65,855 要求 65,855 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	民間教育訓練機関等に委託した職業訓練の実施	委託	障がい者の就業を促進するため、民間教育訓練機関等に委託し、多様な職業訓練を実施 実施コース数：98コース 受講者数（定員）：169人	
2	障がい者職業訓練コーディネーター等の配置	直接	委託訓練を効果的に実施するために、障がい者職業訓練コーディネーターや障がい者職業訓練コーチを雇用し、技術専門校や工科短期大学校に配置 障がい者職業訓練コーディネーター・障がい者職業訓練コーチ配置人数：8人	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
7	在職者訓練事業	35,704 千円	38,578 千円	予算案 40,502 要求 40,502 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	在職者訓練の実施	直接	ものづくり産業の技術力向上、若年技術者等の育成を図るため、在職者向けの講座を実施 実施コース数：234コース	